

# 阿蘇海も宮津の町も美しく ゼオライトで生ごみを堆肥に

## 生ごみは貴重な資源です

毎日家庭から出される大量のごみ、その処理には1人当たり年間14,000円強の費用がかかります。そのごみの約4割は生ごみで、これをゼオライトという粘土を利用して堆肥にすると、無駄な処理費用の軽減になるだけでなく、生ごみ堆肥は地域にさまざまな利益、可能性をもたらしてくれます。

堆肥化の方法は回転可能な木箱に土を入れ、そこへ生ごみをゼオライト粉末と一緒に埋め込み、1日1回箱内を回転・かくはんする「宮津方式」です。生ごみは1~2日で分解され、悪臭の心配もありません。毎日この作業を続けることで良質な生ごみ堆肥をつくり、ビタミン・ミネラル豊富な野菜、また、美しい花を育てましょう。

## 阿蘇海のへどろで「宮津エコの環」を

堆肥作りに使うゼオライトは阿蘇海のへどろから作ることができます。「阿蘇海の環境を考える会」が初めて合成に成功しました。阿蘇海の環境汚染は大変深刻な状態にあります。その原因は海底に堆積したへどろです。生ごみ堆肥化の環が広がりへどろからゼオライトの生産が可能になれば、汚染元を減らし、阿蘇海の自浄能力を取り戻すことができます。

われわれはゼオライトを利用した生ごみ堆肥化を、単にごみ処理経費の軽減だけでなく、「宮津エコの環」を構築することで、地域の雇用の創出・健康づくり、温暖化対策、焼却炉の廃止など、多くのことに役立てたいと考えています。

阿蘇海も宮津の町も美しくする NPO 法人ブルーシー阿蘇の活動に、ぜひあなたも参加して下さい。

### ゼオライトと堆肥作り

この地上の生き物はすべて命を失うと土に戻ります。土壌微生物が生物遺体を分解し、土中の粘土と合体して腐植土という土に変わるからです。そしてこの腐植土こそが地上に新たな命を誕生させ、健全な生態系を築く源なのです。腐植土の良し悪しは粘土で決まると云われます。堆肥作りは腐植土作りであり、粘土として非常に優れた性質を持つゼオライトは、堆肥作りに最適な資材なのです。

### <会員・会費>

■正会員：この会の目的に賛同して入会した個人及び団体

- ・個人 入会金 1,000円 年会費 1,000円
- ・団体 入会金 10,000円 年会費 10,000円

■賛助会員：この会の活動に賛同し資金その他の援助をするために入会した個人及び団体

- ・個人 入会金 5,000円 年会費 5,000円
- ・団体 入会金 10,000円 年会費 10,000円

※お申し込みは裏面の申込書をご利用下さい。

設立の趣旨

## へどろの有効利用で美しい阿蘇海を

### ■汚染の元を断つ

日本三景の一つ天橋立の内海“阿蘇海”は、閉鎖性の海のため大量のへどろが堆積し、水質汚濁、異臭発生、漁獲量激減等の原因となり、観光イメージの低下、漁業の衰退を招いています。へどろから窒素、リンなどの栄養物質が溶け出して植物プランクトンを大量発生させ、それが水質悪化や魚のすめない無酸素水域を広げているからです。しかし用途の無いへどろの除去には膨大な費用がかかり、また、除去しても恒久対策にならない問題があります。

窒素、りんなどの栄養物質は、通常へどろの表層数センチに濃縮する傾向にあります。そこで阿蘇海のへどろの表層を常に除去して濃縮層を減らし、それを人工ゼオライト、シリカゲル、吸湿材などの有用資材に転換して地域で利用すれば、へどろの除去に費用をかけず、むしろ地域に利益を還元しながら、阿蘇海の環境修復、保全を進めることができます。

### ■だれにでもできる「宮津方式」

阿蘇海のへどろからゼオライトを合成する技術はすでに「阿蘇海の環境を考える会」によって確立されています。そして人工ゼオライトを地域で有効利用する方法として、生ごみの堆肥化法(宮津方式)が有志によって開発されました。これは特別な微生物資材を使わなくても発酵が進められる点で、また、回転木箱を利用する点で大変ユニークな宮津独自の方法です。

### ■阿蘇海をへどろ対策のモデルに

へどろ対策に悩む海、湖沼は全国いたるところにあります。しかしへどろを有効利用して海を浄化しようとする試みは例がなく、阿蘇海を全国に先駆けたへどろ対策のモデルとすべく、NPO 法人ブルーシー阿蘇を立ち上げました。

連絡・問合せ先 宮津市字須津 797 Tel・Fax 0772-46-4943 松森方

..... 切り取り線 .....

### NPO 法人ブルーシー阿蘇入会申込書

年 月 日

お名前(ふりがな):

住所: 〒

Tel:

Fax:

Eメール:

会員の種類(○印をつけて下さい): 個人正会員 団体正会員 個人賛助会員 団体賛助会員

合計 円を添え入会を申し込みます